※令和４年度以降入学生用

学校番号	3004

2026（R8）年度　社会科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校地理総合　世界を学び、地域をつくる　（第一学習社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

社会的な諸事象を、地理的な見方・考え方を働かせながら資料を通して、学びます。
また、地理的な見方・考え方を活かして解決すべき課題を設定します。その課題について、主体的・対話的で深い学びを通して、追究したり解決したりする資質・能力を培います。

２　学習の到達目標

①持続可能な社会づくりを目指し、環境条件と人間の営みとの関わりに着目して現代の地理的な諸課題を考察できるようになること。②グローバルな視座から国際理解や国際協力の在り方を、地域的な視座から防災などの初課題への対応を考察できるようになること。③地図や地理情報システムなどを用いることで、汎用的で実践的な地理的技能を習得すること。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図などを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明している。	地理に関わる諸事象について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1編地図や地理情報システムでとらえる現代社会	１章　地図や地理情報システムと現代世界 １節 球面上の世界と地図 ①目的地への行き方 ②地球上の位置 ③世界の時差 ④世界地図の見方・使い方 ⑤地図から読み取る情報 ⑥デジタル化された地図 ⑦地理情報システムの活用	a:緯度・経度、季節変化と時差、地図の種類について諸資料を活用し、理解している。 b:身の回りの地図の活用事例について自分の考えを表現している。 c: メルカトル図法、正積図法、正距方位図法の特徴と欠点を、知識として身につけるとともに、地球儀と世界地図を用いて、球面を平面に表現する際の特徴と問題点を、主体的に探求しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
		２節　国家の結びつきとグローバル化する社会 ①国家の領域と国境 ②日本の領域とさまざまな領土問題 ③国家をこえた結びつき ④交通機関の発達と縮小する世界 ⑤情報・通信で一体化する世界 ⑥拡大する世界の貿易と物流 ⑦グローバル化と人の移動による結びつき	a: 基本単位の国家、国境・領土問題、貿易の拡大に伴う専用船の開発・普及について理解している。 b: 交通・情報・通信手段の発達がどのように地域を結びつけ、変化させているかを地図から考え、表現している。 c: グローバル化の中で、人・「モノ」・資本の国際移動の複雑化や、国家的結びつきの変化に気づき、国家が自国の利益などのために結んでいる国際機関の変遷について主体的に追求しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	第2編国際理解と国際協力	１章　生活・文化の多様性と国際理解 ①世界の生活・文化を写真でつかもう ②人々の生活に彩りを与える気候	a:世界の気候帯ごとに、どのような特徴があり、どのような生活が営まれているのかを諸資料を活用し、理解している。 b:世界の自然環境は地域的に大きく異なることを、気候の面から考察し、自分の考えを表現している。 c:人々の生活様式の差異を通して、地理的環境が及ぼす影響について主体的に追求しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

2学期		③「衣」から見る世界 ④「食」から見る世界 ⑤「住」から見る世界 ⑥暮らしを豊かにする産業 ⑦宗教と人々の暮らし ⑧暮らしを楽しむための文化 ⑨多様性に富んだ世界の人々との共生	a:その地域の自然環境と、歴史や文化の影響を受けた世界の生活文化を、諸資料を活用し、さまざまな事例を通して理解している。 b:世界の特色ある生活文化にはどのようなものがあるか自分の考えを表現している。 c:他者文化と自分化を尊重する視点について、主体的に追求しようとしている。			
		２章　地球的課題と国際協力 １節　持続可能な社会を目指して ①持続可能な開発目標（SDGs） ②地球的課題の地理的な側面	a: SDGs（持続可能な開発目標）の考え方を理解している。 b:地球的課題にはどのようなものがあるか自分の考えを表現している。 c:地球的課題の解決の困難さや、地域差について、主体的に追求しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	第2編国際理解と国際協力	２節　すべての人々の尊厳と平等が守られた社会に向けて ①貧困問題 ②人口問題 ③食料問題 ④持続可能な水の利用 ⑤健康・福祉問題 ⑥教育・ジェンダー問題	a:地球的課題は相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを諸資料を活用し、理解している。 b:各地球的課題についての問題の所在や解決の方向性について自分の考えを表現している。 c: SDGs の達成に向け、エシカルな消費者としての取組を通して、自らの行動を主体的に探求しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
		３節　自然と調和した豊かな社会に向けて ①技術革新と持続可能な産業化 ②限りある資源 ③エネルギー問題 ④都市・居住問題	a:資源・エネルギー問題、都市・住居問題について、理解している。 b:身近な認証制度を調べ、持続可能なライフスタイルの実現に向けて自分の考えを表現している。 c:持続可能な社会に必要なエネルギー構成について主体的に探求しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

３学期	第2編国際理解と国際協力	４節　現役世代と将来世代のための地球 ①地球温暖化問題 ②陸地の環境問題 ③海洋の環境問題 ５節　平和で公正な社会に向けて ①世界の民族と民族問題 ②世界のさまざまな紛争 ③さまざまな対立の解決に向けて ④国際協力とパートナーシップ	a:地球環境問題や民族問題について諸資料を活用し、理解している。 b:グローバルに考える視点と身近な問題として考える視点を持ち、国際協力について自分の考えを表現している。 c: 国際社会の中で日本が果たすべき役割について主体的に探求しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	第３編　持続可能な地域づくりと私たち	１章　自然環境と防災 ①地球規模で見る地形の姿と自然災害 ②人々の暮らしを取りまく自然環境 ③変動帯の自然と防災 ④湿潤地域の自然と防災 ⑤私たちができる災害への備え	a:多くの自然災害は変動帯で起きていることを、諸資料を活用し、理解する。 b: 降水強度の大きい湿潤な日本の気候環境を把握し、地形に応じた防災・減災のあり方について自分の考えを表現している。 c:自らが住む地域のハザードマップをインターネットで検索して、減災に向けて主体的に探求しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
		２章　生活圏の調査と地域の展望 ①地域調査の方法	a:地域調査について、積極的な調査を実施できるよう、地域調査の必要性を理解し、地域調査の基本を身につけている。 b:地域調査を通して、地域の課題に対する地方自治体の政策を調べ、主権者として地域の諸課題を解決する方法について自分の考えを表現している。 c:地域調査を通して、地域のさまざまな事象に対し５Ｗ１Ｈの発問を設定して課題を抽出し主体的に探求しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度